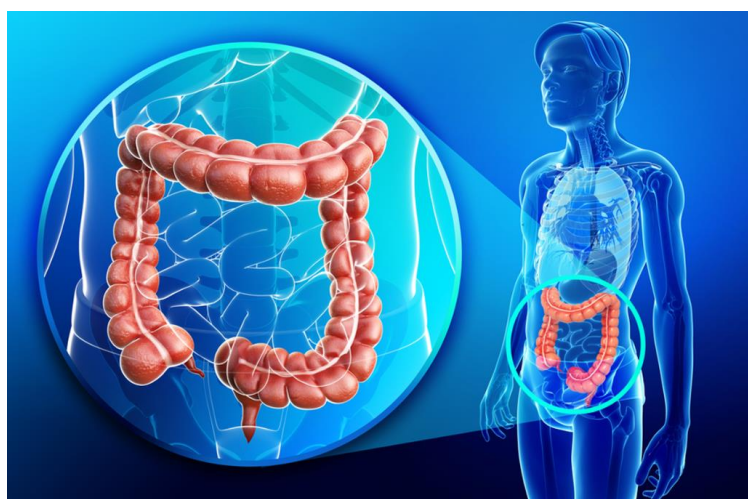


人工甘味料入り飲料と結腸がん 再発リスク低下

1,000人を超える進行した結腸がん患者を対象に追跡した結果、人工甘味料入り飲料を習慣的に飲む結腸がん患者は、再発リスクやがんによる死亡リスクが低い可能性のあることが、新たな研究で示され、研究の詳細が「PLOS ONE」誌に掲載されました。



人工甘味料入り飲料を1日に1回（約350mL）以上飲む人は、飲まない人に比べて、再発リスクやがんによる死亡リスクが46%低いことが分かりました。



二次解析の結果、飲料の摂取を1日1回分、加糖飲料から人工甘味料入り飲料に置き換えると、これらのリスクは23%低下することも明らかになりました。